

3 学年 後期 学習内容と評価規準

後期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国語	漢字の組み立て	【知・技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 【態】漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
	ローマ字	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 【態】進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。
	ちいちゃんのかげおくり ※修飾語を使って書こう ※秋のくらし	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 【態】文章を読んで理解したことに基いて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
	おすすめの一さつを決めよう	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。 【思・判・表】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【態】粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
	すがたをかえる大豆 食べ物のみみつを教えませ	【知・技】比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 【態】目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
	ことわざ・故事成語 ※漢字の意味 ※短歌を楽しもう ※漢字の広場④	【知・技】長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。 【思・判・表】目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。 【態】積極的にことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。
	三年とうげ	【知・技】引用のしかたを理解し使っている。幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 【態】登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
	わたしの町のおよところ ※冬のくらし	【知・技】考えとそれを支える理由について理解している。 【思・判・表】書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
	詩のくふうを楽しもう ※四枚の絵を使って ※カンジエ博士の音訓かるた ※漢字の広場⑤	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【思・判・表】文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
	ありの行列	【知・技】言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 【思・判・表】文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】進んで文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
	つたわる言葉で表そう	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【態】言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書こうとしている。
	たから島のぼうけん	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】書き表し方を工夫している。 【態】進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
	お気に入りの場所、教えませ	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 【態】進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
	モチモチの木 ※漢字の広場⑥ ※三年生を振り返って	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。
書写	書写のやくそく 用具のじゅんび 書く時のしせい 「曲がり」「点」「はね」 ひらがなの筆使い 部分の組み立て方 行の中心 書初め 三年生のまとめ	毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。 筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。 筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。 毛筆を使用して、点・はね・曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 配列(行の中心)に注意して読みやすく書いている。

教科	単元名・教材名	評価規準
社 会	「はたらく人とわたしたちのくらし」 2.ここは温泉のまち 3.コンクリート工場ではたらく人と仕事	【知・技】事前に決めた視点ごとに売り場の様子を観察して、必要な情報を集めている。店には、販売の他にさまざまな仕事で働く人がいることを理解している。店は商品の仕入れを通じて、国内外の他地域と関わっていることを理解している。市の観光の仕事には、他地域や外国とのつながり、働く人の工夫や努力があることを理解している。調べたことをノートにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 【思・判・表】客の願いと店の工夫を関連付けて表現している。ホテルの仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考えたり、工場の仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考え、ノートに表現している。 【態】学習問題にもとづいて販売の仕事をもとめるとともに、これまでの学び方を振り返っている。地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	「地域の安全をまもる」 1.火事からまちを守る 2.事故や事件からまちを守る	【知・技】119番のしくみや火事が発生した時の消防署の仕事、110番のしくみや、交通事故を防ぐために交通整理や取りしりなどを行う警察署の仕事について理解している。消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。 【思・判・表】施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現している。 【態】地域の安全を守る働きについて、主体的に問題解決しようとしている。
	「登別市のあゆみ」 1.昔の道具とくらし 2.登別市のうつりかわり	【知・技】地域や各種の具体的資料を生かして、わかりやすく表現している 【思・判・表】昔の道具と今の道具を比較したり、わかったことを総合したりするなどして人々の生活の様子の変化について考え表現している。地域の人々の生活の様子の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて、考えている。 【態】人々の生活の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

算 数	重さ ※ふく習 ※学びのサポート	【知・技】秤の使い方や、重さの単位「g」、「kg」、「t」のよみ方・かき方・相互関係を理解している。また、重さの加減計算ができる。 【思・判・表】重さの普通単位の必要性に気づき、量感をもとにかさを予想したり適切な単位を判断したりしている。 【態】重さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して重さにあわせて適切な計器や普通単位を使うことや重さの量感を身につけておくことよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	円と球	【知・技】円や球の形とそれらの中心、半径、直径について理解し、コンパスを使って円をかくことができる。 【思・判・表】回転した点の軌跡として円の形をとらえ、円や球には中心となる点があることに気づき、作図の仕方を考えたり、半径や直径について調べたりしている。 【態】円や球の形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して「まるい形」を数学的にとらえるための見方やコンパスの機能のよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	何倍でしょう ※計算のじゅんじよ	【知・技】数量の倍関係を図に表し、乗法や除法を適切に用いてわからない数を求めることができる。a倍のb倍が(a×b)倍になることを理解している。 【思・判・表】日常の事象における数量の倍関係に着目し、「何の何倍が何か」を正しく判断して図に表したり、図をもとにわからない数の求め方を考えたりしている。 【態】数量の倍関係の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の倍関係を図に表すことや何倍になるかをまとめて考えることよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	1けたをかけるかけ算の筆算 ※式と計算	【知・技】(2,3位数)×(1位数)の筆算の仕方を理解し、(2,3位数)×(1位数)の計算をすることができる。 【思・判・表】10や100を単位として(何十・何百)×(1位数)の計算の仕方を考え、その仕方や計算のきまりをもとに(2,3位数)×(1位数)の筆算の仕方を考えている。 【態】1位数をかけるかけ算に進んで関わり、ふり返りを通してかけ算の筆算の仕方のよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	分数 ※間の数 ※わくわくプログラミング ※ふく習	【知・技】分数を使った数量の表し方を理解し、分数の大小比較や、同分母分数の加減計算をすることができる。 【思・判・表】単位分数の何個分かに着目し、分数の大きさや同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 【態】分数に進んで関わり、ふり返りを通して単位分数の何個分かに着目することよき気づきや分数で表すことの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	三角形	【知・技】二等辺三角形や正三角形の意味や性質を理解し、コンパスを使って二等辺三角形、正三角形をかくことができる。 【思・判・表】辺の長さに着目して、二等辺三角形や正三角形を弁別したり、作図の仕方を考えたりしている。 【態】三角形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して辺の長さや角の大きさに着目することよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	小数 ※ふく習	【知・技】小数を使った数量の表し方や小数の仕組みを理解し、小数の大小比較や加減計算をすることができる。 【思・判・表】単位小数の何個分かに着目し、小数の大きさや同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 【態】小数に進んで関わり、ふり返りを通して単位小数の何個分かに着目することよき気づきや小数も整数と同じ仕組みで表されることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	2けたをかけるかけ算の筆算	【知・技】(2,3位数)×(2位数)の筆算の仕方を理解し、(2,3位数)×(2位数)の計算をすることができる。 【思・判・表】1位数をかける筆算の仕方や計算のきまりをもとに、(2,3位数)×(2位数)の筆算の仕方を考えている。 【態】2位数をかけるかけ算に進んで関わり、ふり返りを通してかけ算の筆算の仕方のよき気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	□を使った式 ※そろばん ※買えますか？買えませんか？ ※わくわくSDGs ※もうすぐ4年生	【知・技】わからない数を□として式に表したり、□にあてはまる数を求めたりすることができる。 【思・判・表】問題場面の数量やその関係に着目し、□を使って図や式に表している。 【態】□を使った式に進んで関わり、ふり返りを通して□を使うことよき気づきや文と式とを関連づけることの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。

理 科	※花がさいたよ 実ができたよ	【知・技】植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 【思・判・表】植物の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】植物の成長のきまりや体のつくりについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	太陽とかげ	【知・技】日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿りに違いがあることを理解している。 【思・判・表】太陽と日陰や影の位置、日なたと日陰の地面の様子について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】太陽と日陰や影の位置、日なたと日陰の地面の様子についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	太陽の光	【知・技】日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること理解している。 【思・判・表】日なたと日陰の地面の様子や光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】日なたと日陰の地面の様子や光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	音のせいしつ	【知・技】物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わること理解している。 【思・判・表】音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】音の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	物の重さ	【知・技】物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 【思・判・表】物の形や体積と重さについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】物の形や体積と重さについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	電気の通り道	【知・技】電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。電気を通す物と通さない物があることを理解している。 【思・判・表】電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】電気の回路についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	じしゃくのせいしつ ※作って遊ぼう	【知・技】磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、また、磁石に近づけると磁石になる物があることを理解している。磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 【思・判・表】磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 【態】磁石の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
音	曲に合った歌い方 ※音のスケッチ	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。 【思・判・表】音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【態】曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	日本と世界の音楽	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。 【態】日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	パートの役わり ※めざせ楽器名人	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思・判・表】呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【態】曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	音楽のききどころ	【知・技】曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて気配っている。 【思・判・表】音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【態】楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	思いに合った表現	【知・技】曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気配っている。 【思・判・表】旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【態】声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

図 工	単元全体を通して	【態】つくりだす喜びを味わい進んで創作活動から思い付いたものを表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
	切っかかり出しくっつけて	【知・技】切り糸、かきべらを適切に扱うとともに、前学年までの粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土を切ったりかき出したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	空きようきのへんしん	【知・技】空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、前学年までの紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、使う様子を想像したり材料を組み合わせることで感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	クミクミックス	【知・技】段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。
	顔を出したらなんだかわくわ	【知・技】水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、顔を出して感じたことと想像したこと、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	これでかきたい	【知・技】枝などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、材料を触って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	いろいろうつつて	【知・技】版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
	ひもでつないで	【知・技】ひもを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、ひもや活動する場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。
	ドンドンどんくぎうって	【知・技】金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	マグネットマジック	【知・技】段ボール、磁石を適切に扱うとともに、前学年までの紙材や接着剤、切る用具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、磁石の仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
絵を見て話そう	【知・技】絵を見て友人と話したり簡単な絵に表したりする活動を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	

教科	単元名・教材名	評価規準
体育・保健	鉄棒運動	【知・技】基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。○前回り下り○かかえ込み前回り○転向前下り○膝掛け振り上がり○前方片膝掛け回転○補助逆上がり○かかえ込み後ろ回り○後方片膝掛け回転 【思・判・表】自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 【態】互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	幅跳び	【知・技】走り幅跳びの行い方がわかる。5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、速くへ跳ぶことができる。 【思・判・表】走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 【態】きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。
	高跳び	【知・技】走り高跳びの行い方がわかる。3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 【思・判・表】走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 【態】きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。
	ハンドベースボール	【知・技】ハンドベースボールの行い方がわかる。 【思・判・表】攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 【態】勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	マット運動	【知・技】マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。○前転○後転○開脚後転○補助倒立ブリッジ○側方倒立回転○壁倒立○壁登り倒立○頭倒立 【思・判・表】自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 【態】器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	スキー	【知・技】斜面で横切るように滑ったり、曲がったり、止まったりしている。 【思・判・表】自己の能力に適した課題を見つけ、動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。 【態】運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたっている。
	ソフトバレーボール	【知・技】キャッチバレーの行い方がわかる。いろいろな高さのボールを片手、両手などでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 【思・判・表】点を多くあげるための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 【態】勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	跳び箱運動	【知・技】跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技ができる。○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び)○台上前転○首はね跳び 【思・判・表】自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。見付けたポイントや友達の技のよさや課題、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 【態】器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	ボートボール	【知・技】ボートボールの行い方がわかる。 【思・判・表】得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 【態】勝敗を受け入れている。互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	保健 (1)けんこうというたからもの (2)けんこうによい1日の生活 (3)体のせいけつとけんこう (4)けんこうによいかんきょう	【知・技】健康の状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること、また、健康を保持増進するには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活など1日の生活の仕方が深く関わっていること、体を清潔に保つことや生活環境を整えることが必要であることを理解している。 【思・判・表】健康な生活に関わることから課題を見つけ、健康な生活を目指す視点から、解決の方法を考え、それを伝えている。 【態】学習活動に粘り強く取り組む中で、健康な生活の大切さに気づき、健康な生活についての学習に進んで取り組もうとしている。